

まちの声を
形にします！

辻堂まちづくり会議の活動の仕組みです！

まちの声を収集

公民館まつり



今年度は大規模災害への日ごろの備えや意識を調査しました

辻堂公民館まつりには2日間でのべ6000人もの方が訪れます。
辻堂まちづくり会議では、たくさんの方が集まるこのイベントを皆さまの声を集める絶好の機会ととらえ、日頃の活動紹介とアンケート調査を行っています。
今年度は、「～海と暮らすまち・辻堂アンケート～ あなたの地震・津波対策」と題して、災害に対する意識や不安なことなどの声を集めました。



まちの課題への取組

部会紹介

まちづくり会議の3つの部会が、それぞれの活動(事業)を通じて課題に取り組みます！



くらし安心・安全部会

安心で安全に暮らせるまちを目指し、防災や防犯などの地域の課題への対策や、都市問題の解決などを推進しています。



今年度のトピック

昭和通りの拡幅の提言、自転車のマナーアップ、子どもの見守り、道路損傷箇所通報システムの紹介など

辻堂交流部会

人と人とのふれあいを大切に笑顔あふれるまちを目指し、地域団体や人々との交流を図った事業でつながりをつくっています。



今年度のつながり

辻堂にゆかりの有識者、市の環境事業センター、湘南工科大学及び附属高校、地区内小中学校、自治会町内会、商店会など

福祉部会

地域で支えあえるまちを目指し、当事者と一緒に考えて行動することや、知ってもらう・理解を広めることで「ふだんのくらしのしあわせ」につなげています。

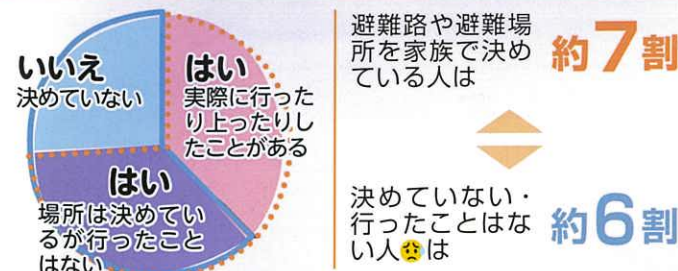
今年度の取組

障がいのある方も参加しやすい防災訓練、「ミニさんぽ」を通じた高齢者の交流のきっかけづくりなど

アンケート結果

2日間で596人の方に回答いただきました！

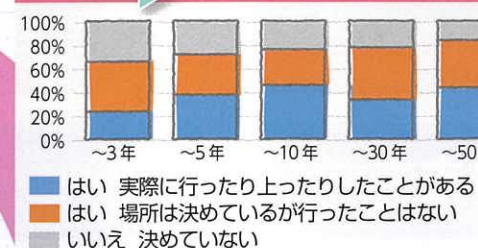
万一、津波が発生した場合、避難路・避難場所(避難ビル)を家族で決めていますか？



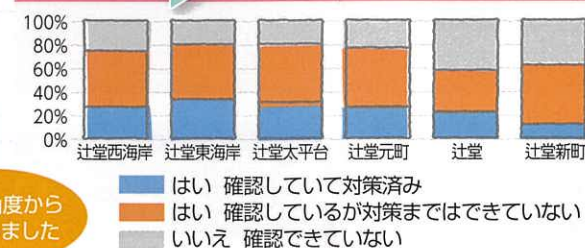
万一、災害が発生した場合、自宅周辺のリスクをハザードマップで確認していますか？



居住歴別に見ると…



お住まい別に見ると…



沿岸地区だけあって住民の防災意識は高いものの、具体的な行動につながっていないという結果を踏まえ、私たちは災害への備えとして何が必要なのか、『地区全体集会』で皆さんと議論することにしました。

まちの課題を自分ごと化

全体集会

開催日 2025年2月2日(日) 参加者数 76人

今回のテーマは「みんなで考える『いざ災害!!』」で、参加者は7つのグループに分かれ、二つの小テーマについて、心配事とその対策を話し合いました。

一つ目は、「自身や家族の身を守る行動」で、避難場所や避難経路と避難時の家族との連絡方法の心配事に対して、避難場所や避難方法、連絡方法を具体的に決めておくという意見が出されました。

二つ目は、「地域や周囲の人たちとの協力」で、近所で避難時に支援を必要とする人がいるか分からないという心配事に対して、地域のコミュニケーションを大切にするという意見が出されました。

当日いただいたご意見等は、今後の活動に活かしていきます。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



アンケート結果をもとにこのまちに足りないことを自分ごととして話し合いました

